

耕作者募集中

# 江田島市

江田島市農業委員会事務局 ☎0823-43-1645

キラリ

えたじま

# 農地バンク制度

農地確保のハードルの緩和を目指す  
江田島市農地バンク制度

試験運用開始

## 江田島市農地バンク制度とは

新規に農業を始めたい方や現在の<sup>ほしよ</sup>圃場（農産物を育てる場所）の規模を拡大したい方の農地に係るハードルを下げることを目的とし、農業委員会が選定した農地の耕作者を募集し、地権者との契約をあっせんする制度です。

こんなメリットがあります！

空き農地に係る情報収集のハードルが下がります

農地の貸借等における地権者交渉などのハードルが下がります

初期段階における農地整備（草刈り・整地）のハードルが下がります

## 江田島市農地バンク制度に関して、農業委員会会長にインタビュー

Q. この制度の立ち上げの経緯は？

A. 広島県の農地中間管理事業という制度はありますが、より江田島市に合い、所有農地を処分したい（貸したい・売りたい）方の情報を農業委員会が収集し、条件不利地からの園地転換を行うことで、農地の流動化を促進し、条件の良い農地が必要な（借りたい・買いたい）方に提供するマッチングが図れるのではないかと考えました。

Q. 江田島市農地バンクの情報はどこで知れますか？

A. 江田島市のホームページに情報を掲載しています。試験運用、効果検証、改善普及のサイクルを行いながら、本運用につなげていきます。



江田島市農地バンク制度の詳細はこちらから



農業委員会会長  
小原 正清さん



▲国立広島原爆死没者追悼平和記念館 HP

ほつとひといき  
ニュースで、広島平和記念資料館の令和5年度の入館者が、過去最多となる176万人を超えたそうです。  
昨年5月に開かれたG7サミットを受け、被爆地への関心が高まったことなどが追い風となったそうです。  
その広島平和祈念館に隣接している国立広島原爆死没者追悼平和記念館の地下1階企画展示室で、「暁部隊 劫火へ向かへり」特攻少年兵たちのヒロシマ」が令和7年2月末まで上映されており、入館料は無料です。内容は太平洋戦争末期、陸軍の船舶司令部に配属され、江田島町幸ノ浦に集められた少年兵たちは、①（マルレ）と呼ばれた一人乗りのボートで敵艦を撃沈させる特攻訓練を受けていました。死を覚悟していた少年たちを待ち受けていたのは特攻ではなく、原爆投下。「本務を捨てて広島市の救護に立て」との命令を受け、急行した彼らが死の街広島で何を見て感じたのか。その心情に迫る映像です。この映像のロケ地は江田島町幸ノ浦で行われたそうです。左記のQRコードのサイト内からも映像を見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

江田島市公式LINE

質問に答え、受信設定すれば

ほしい情報をお届け！

LINE @ etajimacity

広報えたじま 第234号（毎月1日発行）  
発行／江田島市 編集／江田島市企画部企画振興課  
〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地  
☎0823 (43) 1630・FAX0823 (57) 4433

「広報えたじま」は、ホームページでご覧になれます。

広報えたじま

